

日本手話初級 I・II 履修における注意事項

この授業の目的は、日本手話の習得を通して、異文化理解を深め、ろう者の言語と文化を尊重する姿勢を身につけることです。

日本手話の授業では音声は用いません。

「手話」は目で見える言語となります。

- (1) 毎回の授業は前回の続きから始めるため、原則として授業には毎回出席することが単位取得の前提となる。やむを得ず欠席する場合は、事前にメールにて連絡のこと。
- (2) 秋学期「日本手話初級 II」は春学期の学習内容を発展させたものであるため、年間を通じた履修が前提となる。
- (3) 履修希望者は、期日までにレポートを提出すること。履修定員を超える場合は、提出されたレポートによる選抜を行う。

レポート提出課題

A5 用紙内に入る文字数で下記をまとめよ。

- ・受講の動機
- ・手話経験の有無(有と答えた人→どこで、どのように)

レポート提出期限

2021年4月1日(木) 18:00 まで

提出先

※下記言語文化研究所事務室アドレス宛てに、メール添付にて提出のこと。

genbu@ic1.keio.ac.jp

選抜結果について

選抜結果は、履修申告期間中(4月3日以降)に、keio.jp に掲載する。